

3) ステーションナリー関連製品の開発

江口佳孝、関戸正信

既存の食器生産工程を考慮し、産地製品の多様化に資することを目的とした食器外の製品展開を図るため、インテリア雑貨、ギフト、ノベルティ関連の 카테고리の中で製品開発を行った。主なステーションナリー製品とは、筆記用具と用紙(ノート、便箋、手帳)であるが、この市場に向けた製品展開を行うことで新たな市場の開拓を図る。

1. はじめに

ライフスタイル、特に食習慣の変化に伴う和食器離れ、または食器離れの中で、食育の必要性を叫ばれているほど食文化も変化、多様化している。

家事労働のもっとも大きい部分である調理、食後の食器洗いなどを簡素化し、家事労働自体を減らしていく傾向が若年層世帯に多く見られ、これらの世帯を中心に家庭内で使用される食器のアイテム自体が減少し、また偏っている傾向がある。

陶磁器産地として、現代の食習慣に合わせた食器製品の開発は、あまりの多様化、少量化に対応できない部分があり、食器以外にも活路を見出せる製品の開発が必要である。

ステーションナリー製品は筆記用具、用紙が主力のアイテムであるが、この市場の中で製品を展開することで、インテリア雑貨、ギフト、ノベルティといった関連の市場を望める。

陶磁器食器外製品として既存の食器生産ラインで製造できるステーションナリー関連製品のアイテムを構築し、これらのカテゴリーの中で製品展開を図る。

平成22年度は、アイテムの拡充としてペーパーウェイト、蓋物(小物入れ)、ペン立て(レターホルダー)の試作を行った。

2. デザインと試作開発

2.1 ペーパーウェイトのデザイン・試作

CADによりデザインから型の設計を行い、そのデータを基にモデリングマシンによるNC切削で試作型の製作を行った。

図1、図2にペーパーウェイトのCADによるデザイン

から型設計データを示し、図3、図4に試作品を示す。

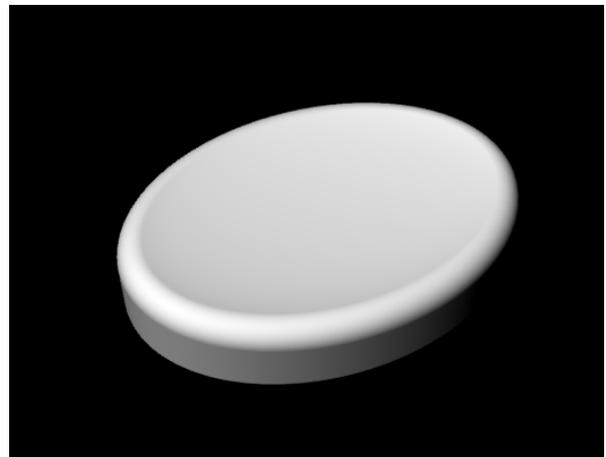


図1 ペーパーウェイトCADによるレンダリング。

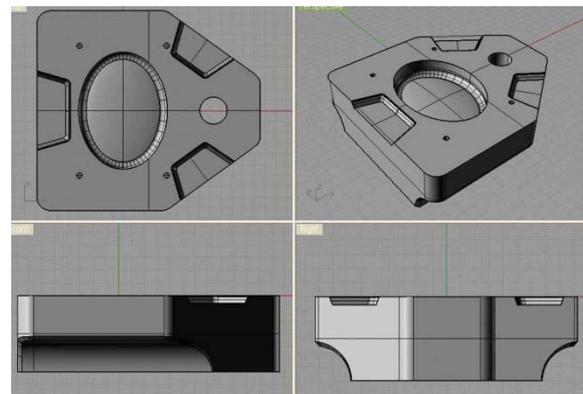


図2 CADによる型の設計。



図3 ペーパーウェイトA.



図4 ペーパーウェイトB.

2.2 蓋物(小物入れ)のデザイン・試作

図5に蓋物(小物入れ)のCADによる型データを示し、図6から図8に試作品を示す。

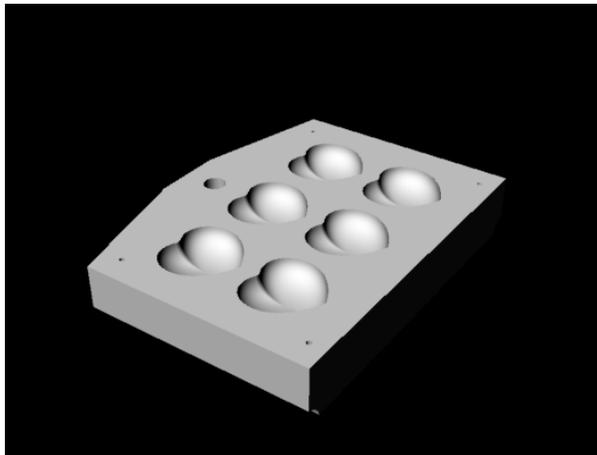


図5 CADによる型のレンダリング.



図6 ハート形小物入れ.



図7 球形小物入れ.



図8 幾何形小物入れ.

2.3 ペン立て(レターホルダー)のデザイン・試作

図 9、10 にペン立て (レターホルダー) のCADデータを示し、図 11 から図 13 に試作品を示す。

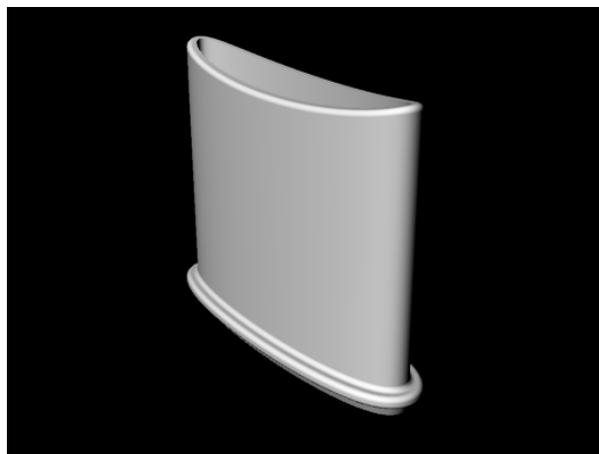


図9 CADによるレンダリング.

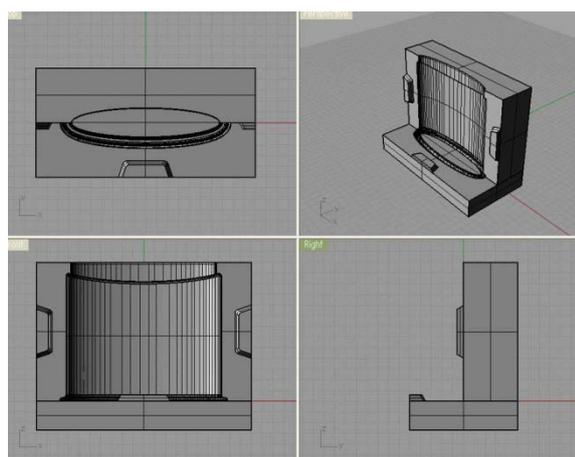


図10 CADによる型の設計.



図11 レタースタンド.



図12 ペン立てA.



図13 ペン立てB.

3. まとめ

多岐にわたって市場の開拓を試みるためには、様々なカテゴリーのアイテムの開発が急務であり、本研究では、既存のラインの中で生産できることを念頭に置き、ステーションナリー関連製品開発の取組を行った。

また、試作作業の高度化を目的とし、デジタルデザイン(CAD・CAM・モデリングマシン)の活用に取り組んだ。

今後も、これら試作品により様々な求評を経て、関連製品の新たなアイテムの構築を行う。